

# 最近の新潟県内の経済情勢

令和3年10月27日

財務省関東財務局  
新潟財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

問い合わせ先  
関東財務局 新潟財務事務所 財務課  
電話番号 025-281-7503 内線 2200、2211

## 1. 総論

【総括判断】「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある」

項目	前回（3年7月判断）	今回（3年10月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡

（注）令和3年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

### （判断の要点）

個人消費は、感染症の影響があるものの、持ち直しつつある。生産活動は、持ち直しの動きに一服感がみられる。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

### 【各項目の判断】

項目	前回（3年7月判断）	今回（3年10月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、持ち直しつつある	➡
生産活動	緩やかに持ち直している	持ち直しの動きに一服感がみられる	↘
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、おおむね横ばいとなっている	緩やかに持ち直している	↗
設備投資	3年度は増加見込みとなっている	3年度は増加見込みとなっている	➡
企業収益	3年度は減益見込みとなっている	3年度は減益見込みとなっている	➡
企業の景況感	「下降」超幅が縮小している	「下降」超幅が縮小している	➡
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	↗
公共事業	前年を上回っている	前年を下回っている	↘

### 【先行き】

先行きについては、感染対策を徹底し、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、国内外の感染症の動向を注視する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、持ち直しつつある」

百貨店・スーパー販売額、ホームセンター販売額、乗用車新車登録届出台数などは前年を下回っているものの、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額は前年を上回っている。宿泊や飲食サ

ービスは持ち直しの兆しがみられる。このように個人消費は、感染症の影響があるものの、持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- DIY やリフォーム用の資材・建材等が堅調であるものの、8月に全国的な長雨が合ったこと、緊急事態宣言が発出されたことから、キャンプ用品のほか、エアコンなどの冷房器具、夏用の寝具が昨年より大幅に売上を落としている。(ホームセンター、大企業)
- 外出自粛の傾向がみられた8月は客足が落ちたものの、7~9月で平均すれば売上高は前年並みとなっている。生鮮食品、総菜、菓子類で、平時より少し良いものを購入する傾向は継続している。(百貨店・スーパー、中堅企業)
- 足下では半導体不足に伴う納車の遅れがあるものの、受注自体は前年並みとなっている。(自動車販売、中小企業)
- 首都圏をはじめとする多数の都道府県で緊急事態宣言等が発出されていたことにより、8月はキャンセルが相次ぐなど低調であったが、足下では中断していた県民割キャンペーンが再開されたことにより、個人客(少人数)の予約が好調で、10月以降、週末を中心に予約が増えている。(宿泊、中小企業)
- 感染者数が落ち着いていた7月は、人々の往来が比較的多く来店客数が増加したが、8月は感染者の増加や帰省自粛により来店客数が減少した。足下では県内に発令されていた特別警報が解除され、繁華街の店舗を中心に客足が伸びている。(コンビニエンスストア、大企業)

## ■ 生産活動 「持ち直しの動きに一服感がみられる」

鉱工業生産指数を業種別にみると、食料品は前期比で上昇しているものの、汎用・生産用・業務用機械、輸送機械などは前期比で低下しており、生産活動は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

- 季節商品は8月の天候不順により動きが弱かったものの、コンビニ向け商品は9月以降に回復の兆しがみられる。また、今冬以降の需要増を見越して一部商品を先行して生産し、在庫を積み始めている。(食料品、大企業)
- 海外向けの建設機械の生産が増加しているものの、国内向けの建設機械は受注が回復していない。(生産用機械、大企業)
- 8月頃までは自動車部品の生産が好調であったが、足下では完成車メーカーが生産調整を行っている影響で、当社の生産も落ち込んでいる。(輸送機械、中小企業)
- 主力商品の生産は前年を上回っている。足下では東南アジア地域のロックダウンにより、部材の調達に影響を受けているため、調達先を変更して対応している。(金属、大企業)

## ■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

新規求人数は増加傾向にあり、有効求人倍率は上昇していることから、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- 慢性的な人手不足に悩まされており、中途採用について積極的な求人活動を行っているものの、募集人数の半分程度しか人が集まらない。(製造業、中小企業)
- 建設現場では特に30~40代の人材に不足感があり、有資格者が業界全体で取り合いになっている。(建設、大企業)

## ■ 設備投資 「3年度は増加見込みとなっている」

法人企業景気予測調査(3年7~9月期調査)で3年度通期の設備投資計画をみると、製造業は前年比24.2%の増加見込み、非製造業は同20.5%の減少見込みとなっており、全産業では同0.0%の増加見込みとなっている。

## ■ 企業収益 「3年度は減益見込みとなっている」

法人企業景気予測調査(3年7~9月期調査)で3年度通期の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業は前年比3.2%の増益見込み、非製造業は同15.6%の減益見込みとなっており、全産業では同7.8%の減益見込みとなっている。

規模別にみると、大企業、中堅企業は減益見込み、中小企業は増益見込みとなっている。

## ■ 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小している」

法人企業景気予測調査(3年7~9月期調査)の景況判断BSIをみると、全産業では「下降」超幅が縮小している。先行きについては、3年10~12月期は「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

## ■ 住宅建設 「前年を上回っている」

新設住宅着工戸数をみると、貸家は前年を下回っているものの、持家、分譲住宅は前年を上回っている。

## ■ 公共事業 「前年を下回っている」

公共工事請負金額は、前年を下回っている。

発注者別にみると、独立行政法人等は前年を上回っているものの、国、県、市町村は前年を下回っている。

# 最近の新潟県内の経済情勢(令和3年10月判断)

## ( 資 料 )

目 次	(頁)
1. 個人消費	1~2
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	4
5. 企業収益	5
6. 企業の景況感	6
7. 住宅建設	7
8. 公共事業	7
9. 企業倒産	8

令和3年10月27日

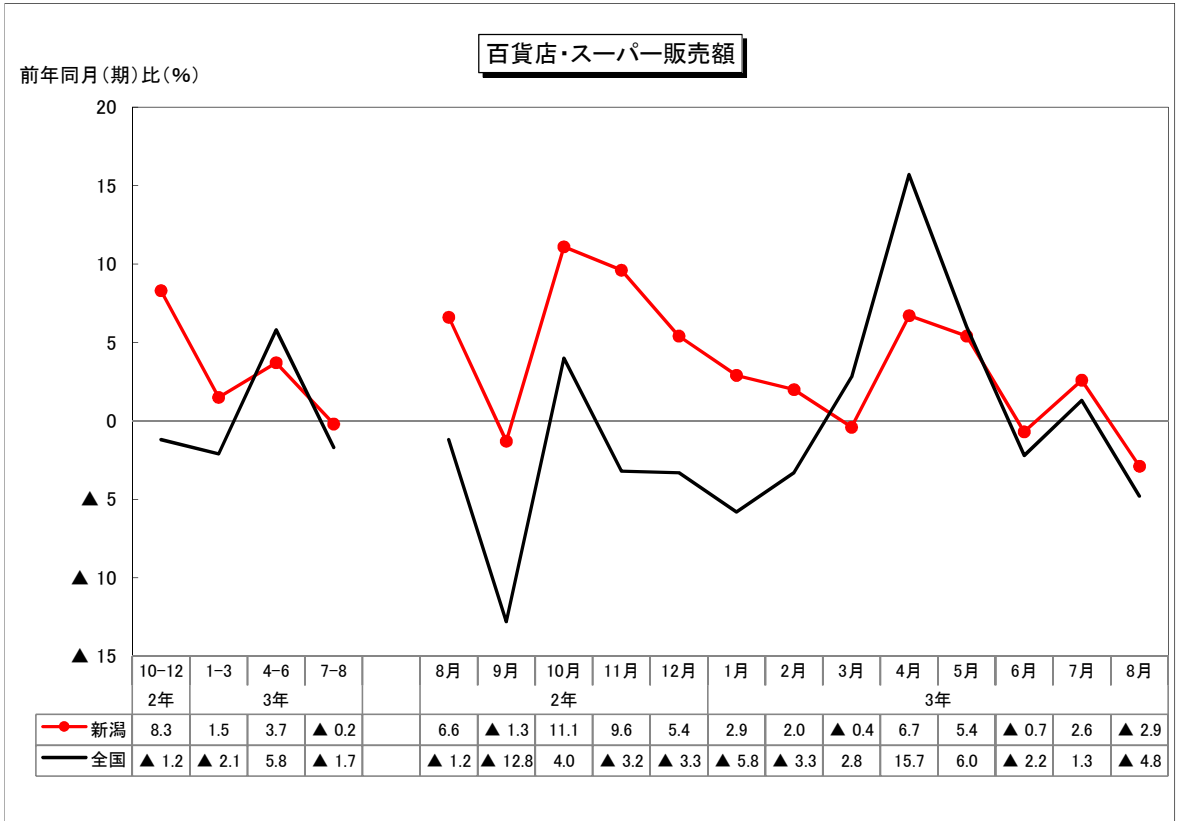
財務省関東財務局 新潟財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

# 1. 個人消費

新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、持ち直しつつある

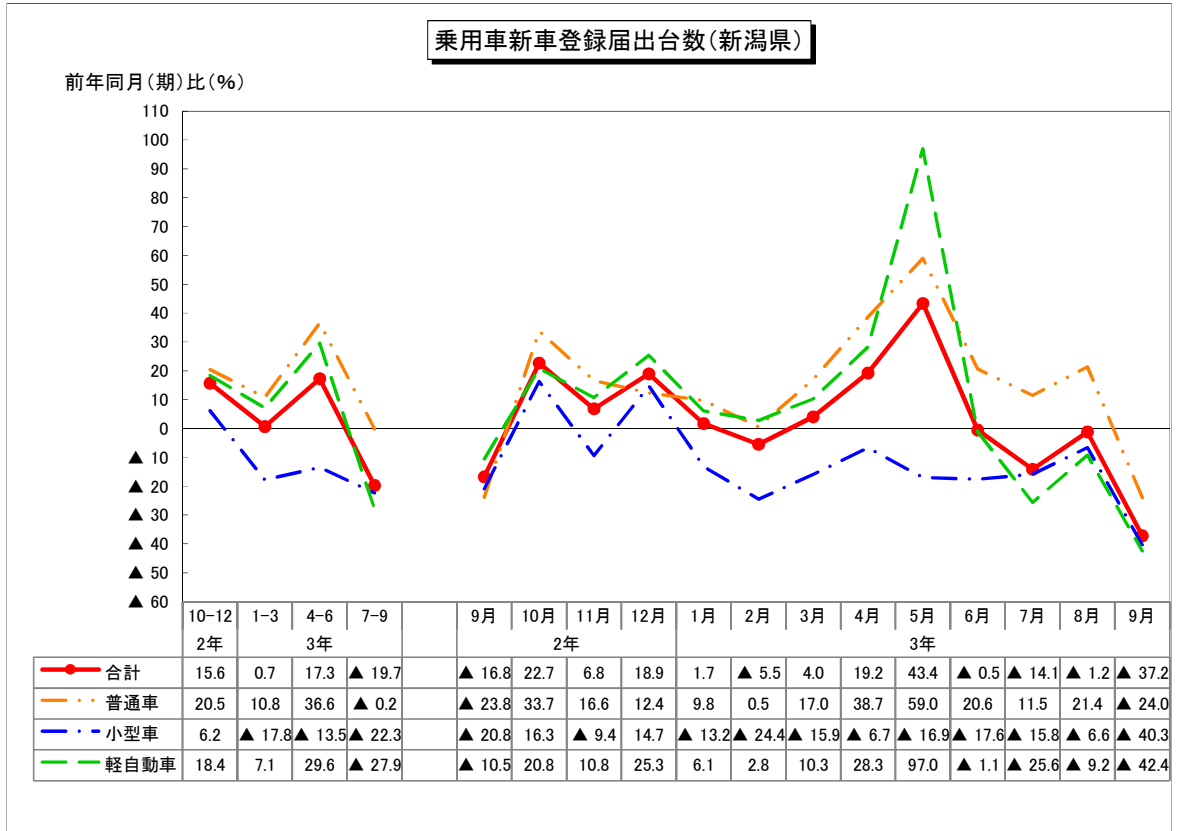
【グラフ1】



(注)前年同月(期)比は全店ベース。

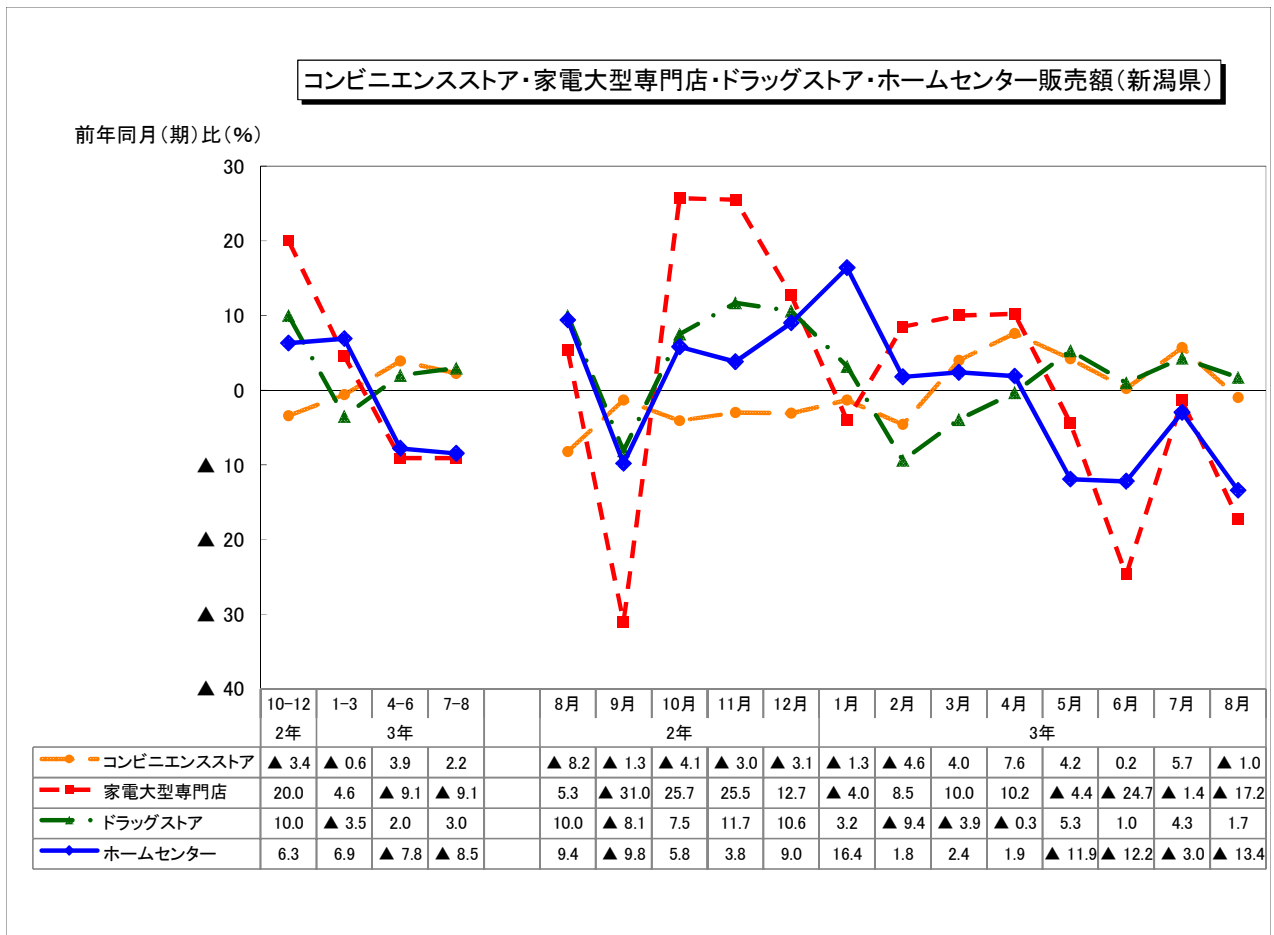
【経済産業省】

【グラフ2】



【日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

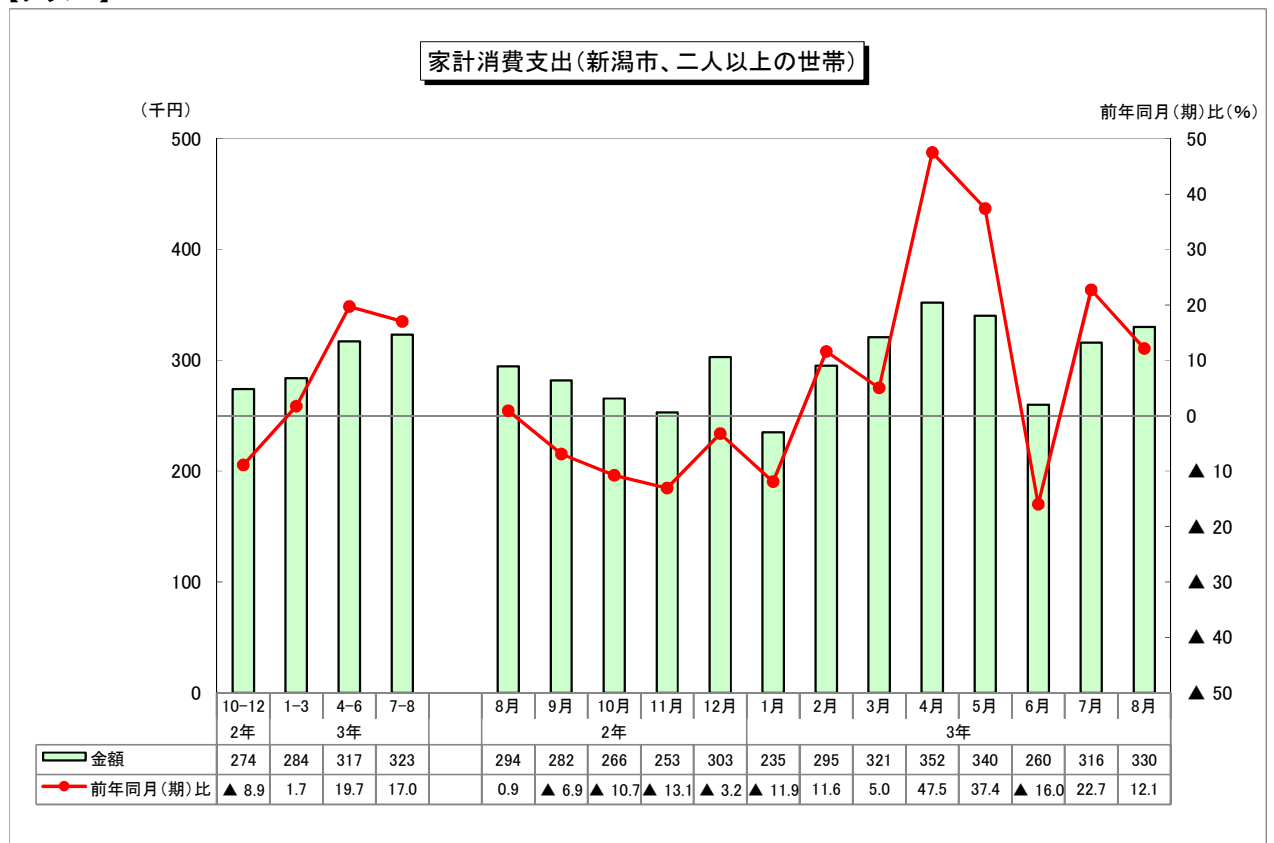
【グラフ3】



(注)前年同月(期)比は全店ベース。

【経済産業省】

【グラフ4】

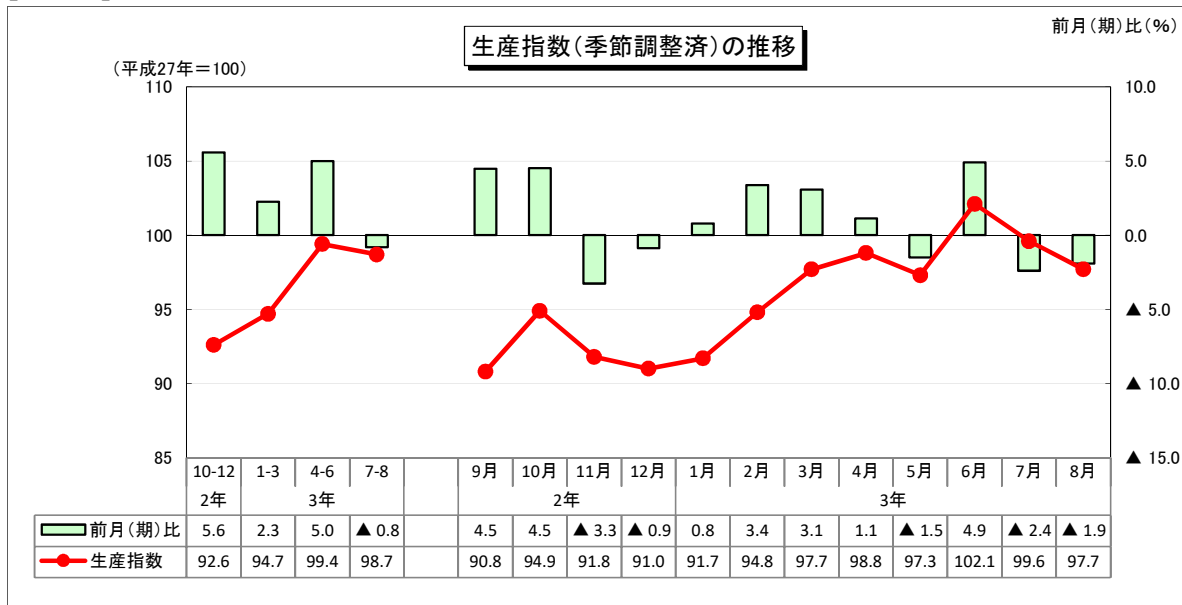


【総務省】

## 2. 生産活動

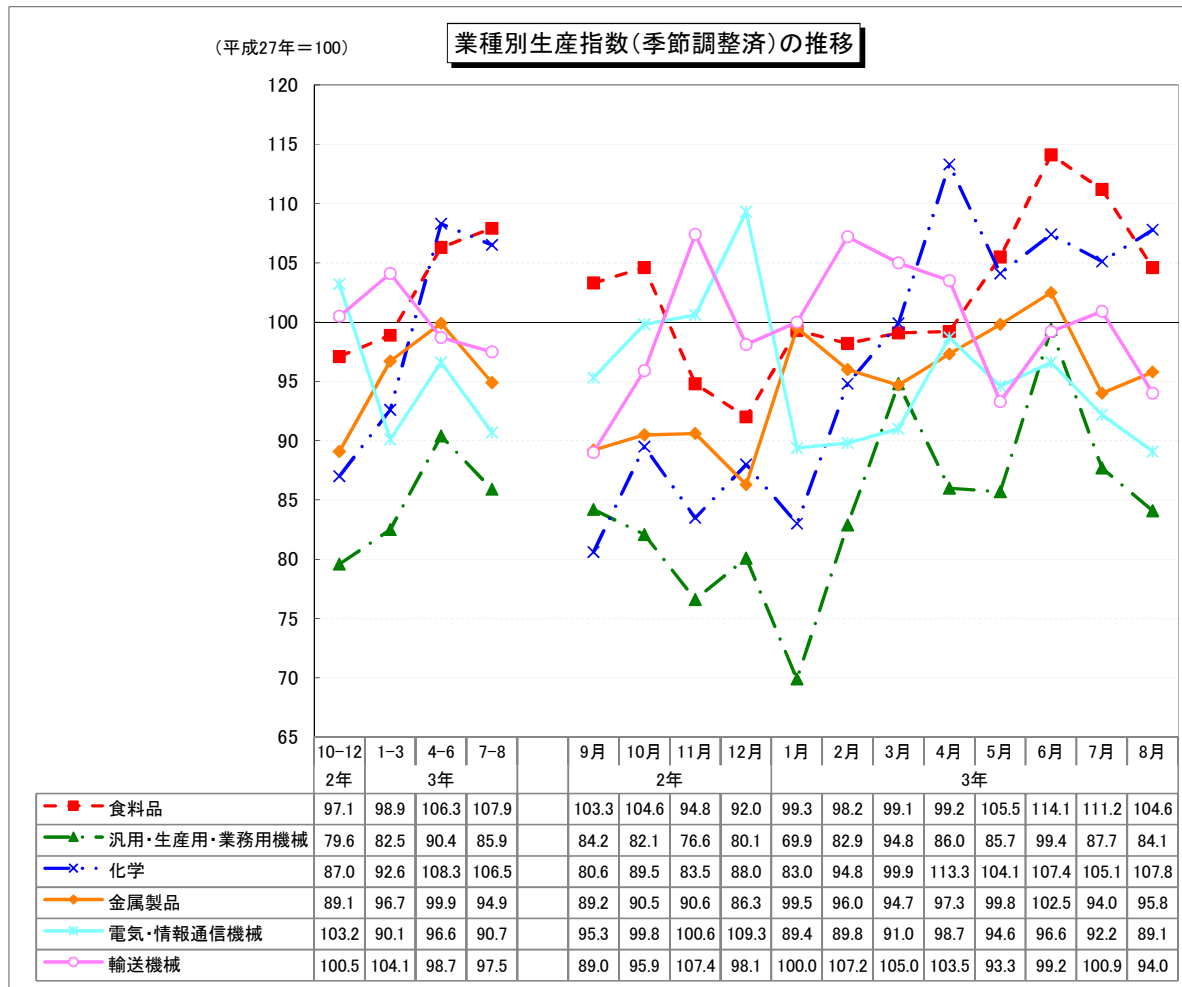
持ち直しの動きに一服感がみられる

【グラフ5】



【新潟県】

【グラフ6】

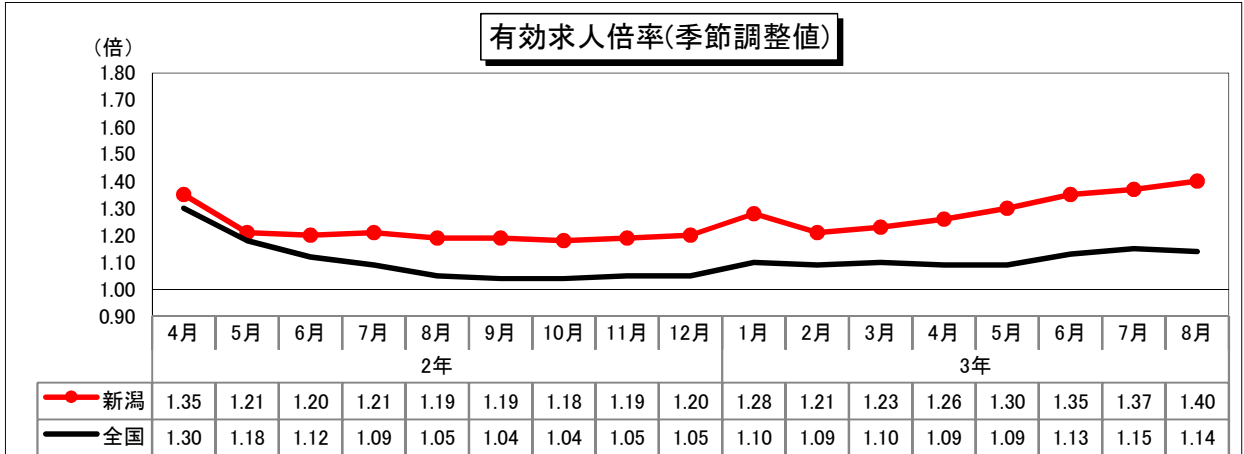


【新潟県】

### 3. 雇用情勢

緩やかに持ち直している

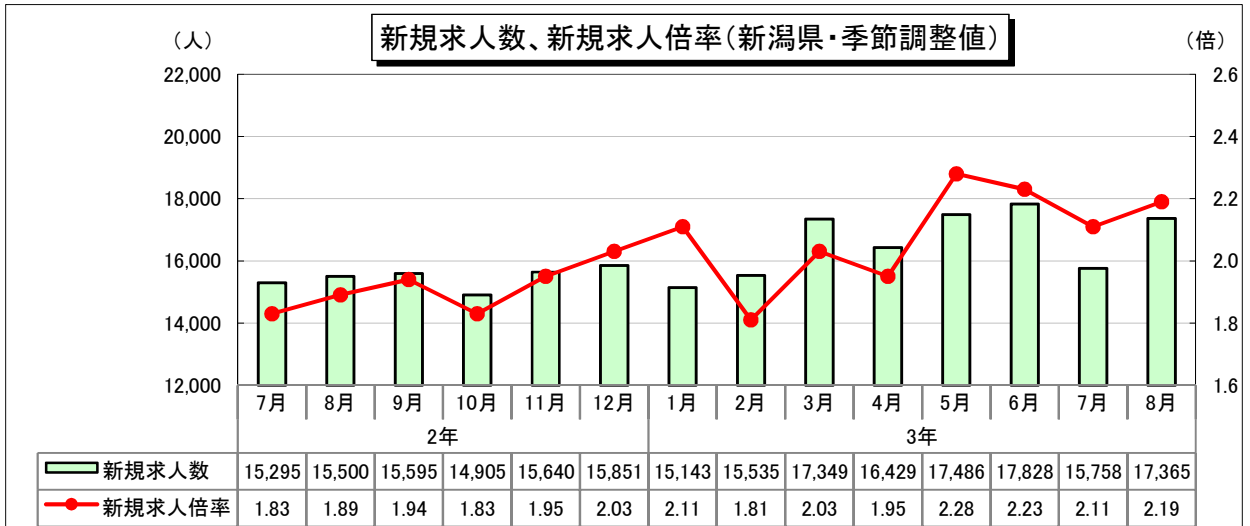
【グラフ7】



(注)パートを含む。

【厚生労働省】

【グラフ8】



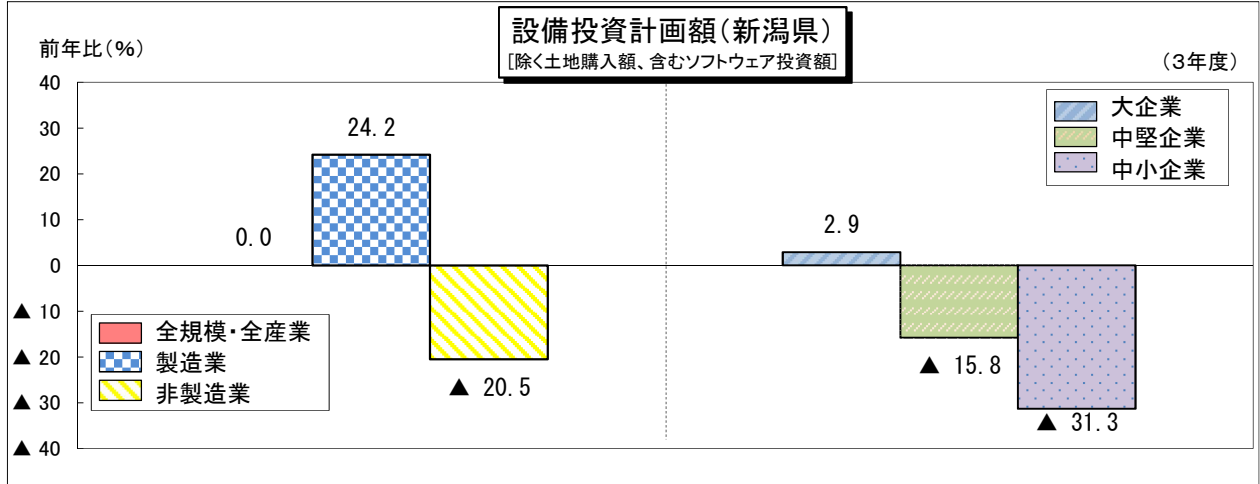
(注)パートを含む。

【厚生労働省】

### 4. 設備投資

3年度は増加見込みとなっている

【グラフ9】



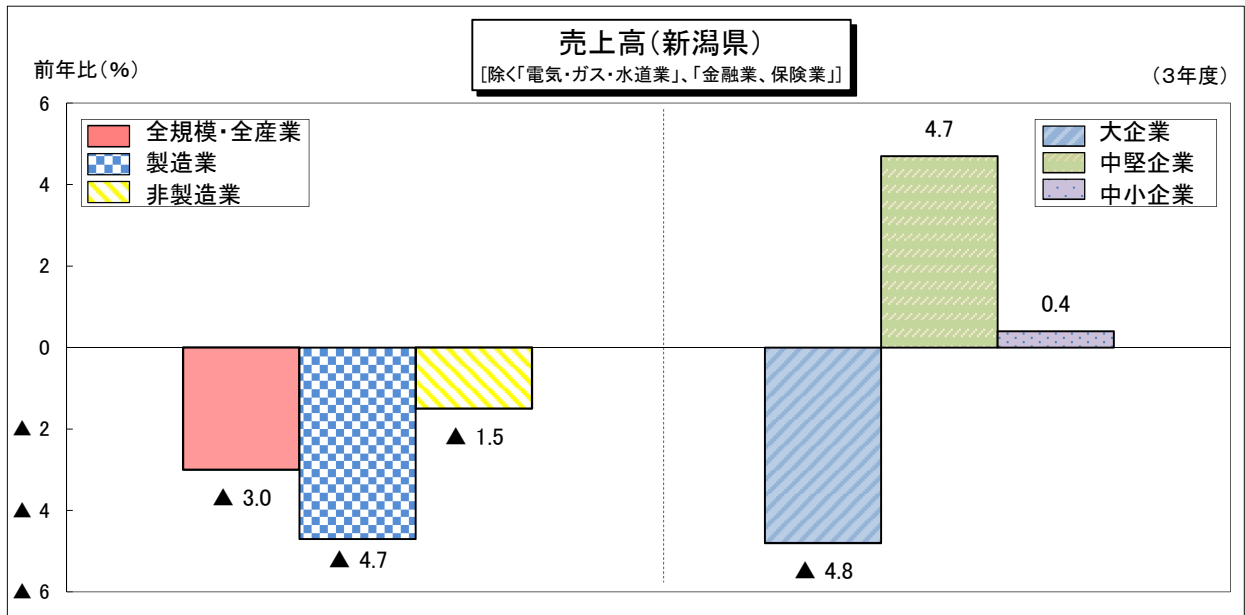
【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】



## 5. 企業収益

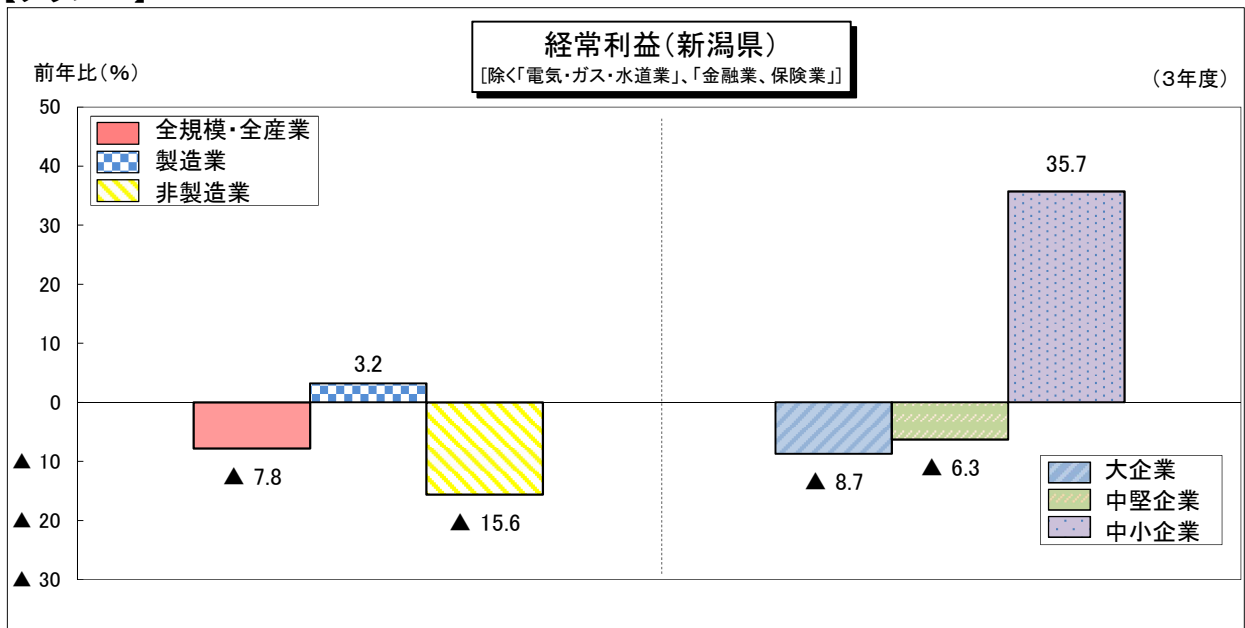
3年度は減益見込みとなっている

【グラフ10】



【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

【グラフ11】

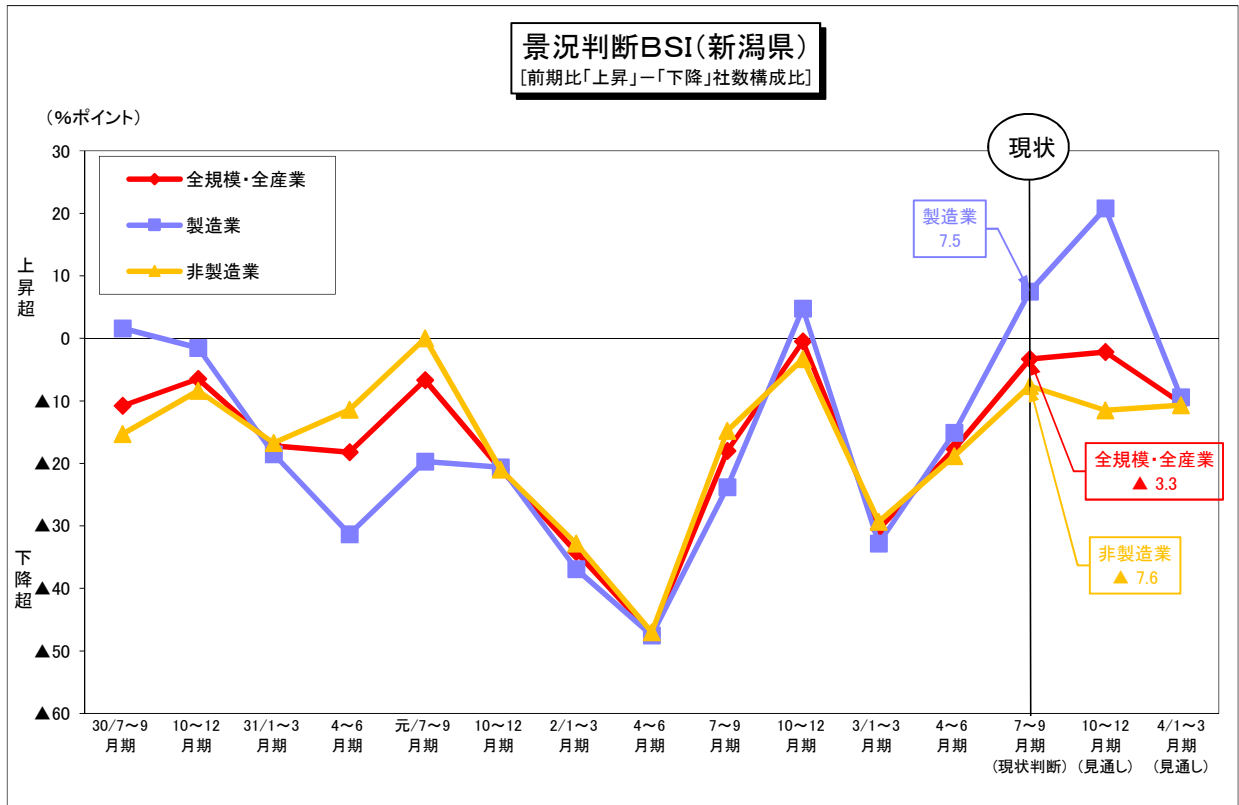


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

## 6. 企業の景況感

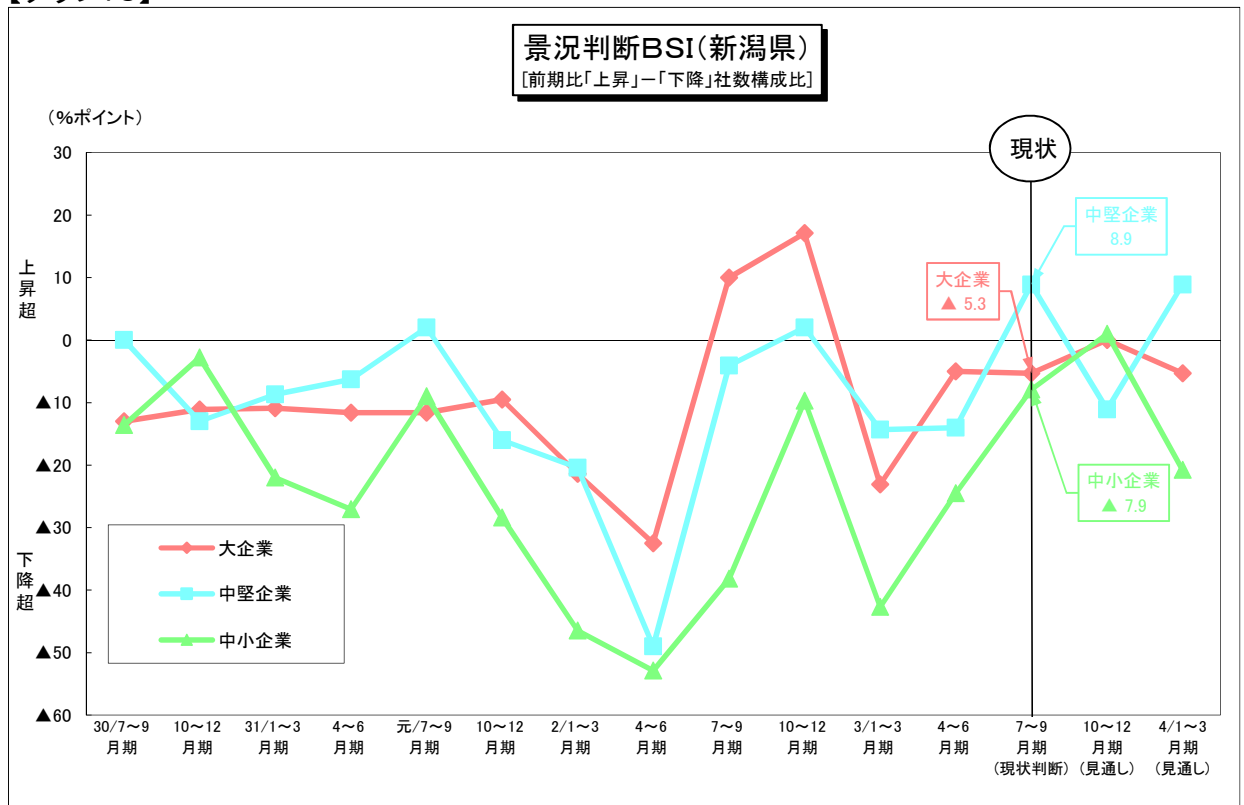
「下降」超幅が縮小している

【グラフ12】



【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

【グラフ13】

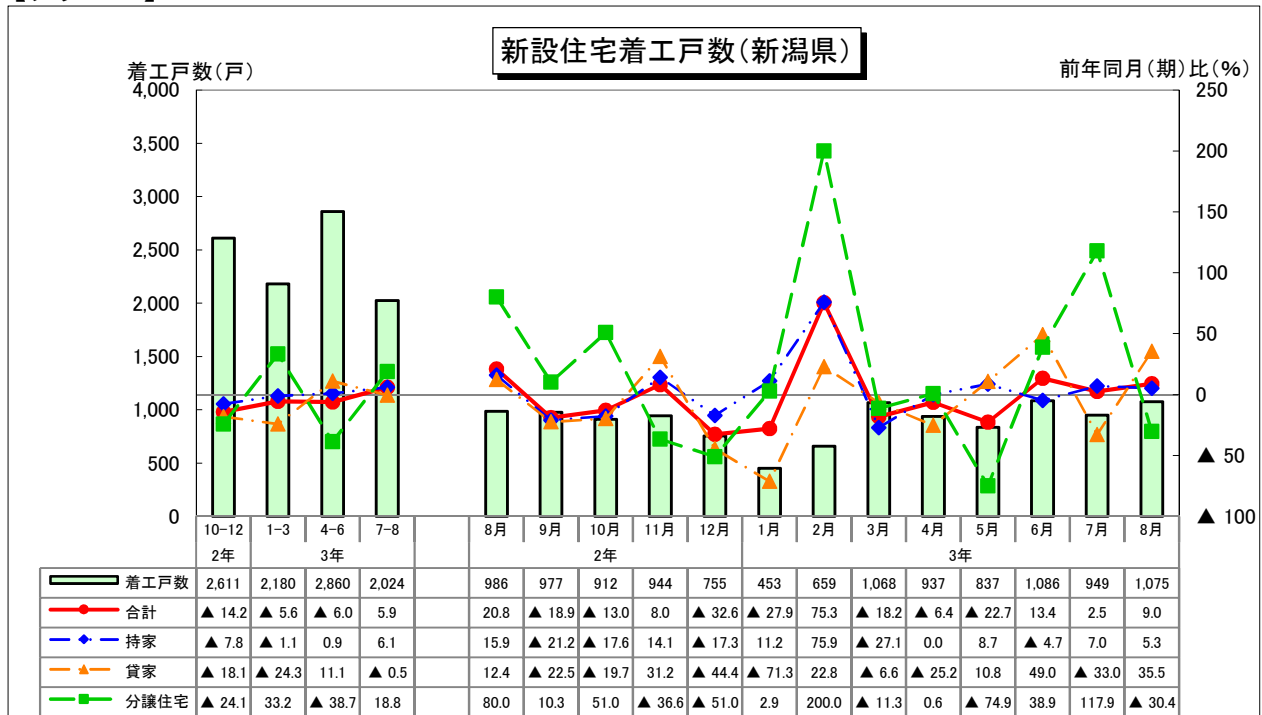


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

## 7. 住宅建設

前年を上回っている

【グラフ14】

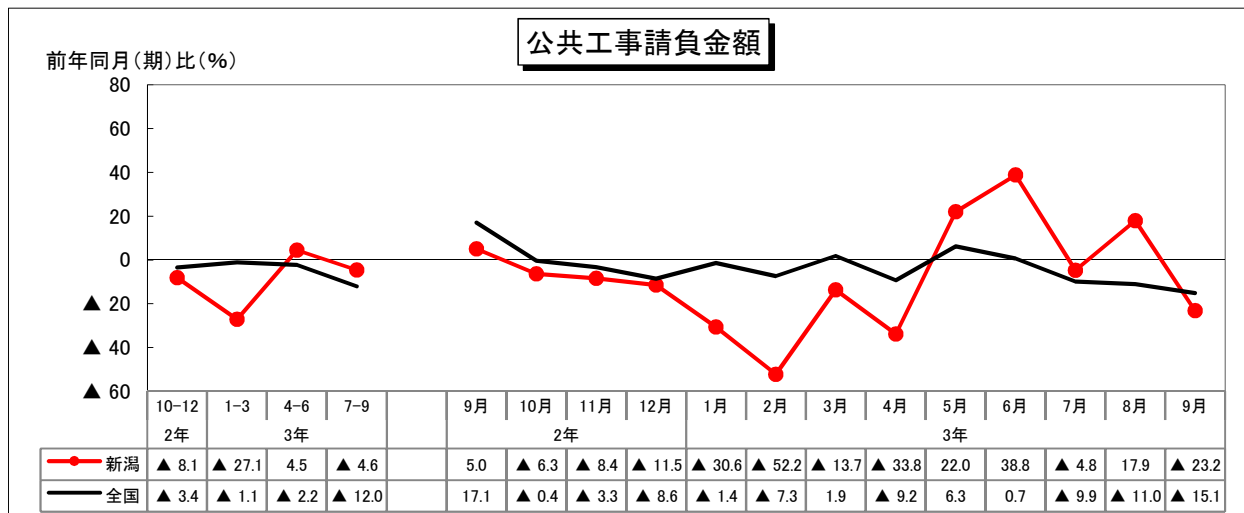


【国土交通省】

## 8. 公共事業

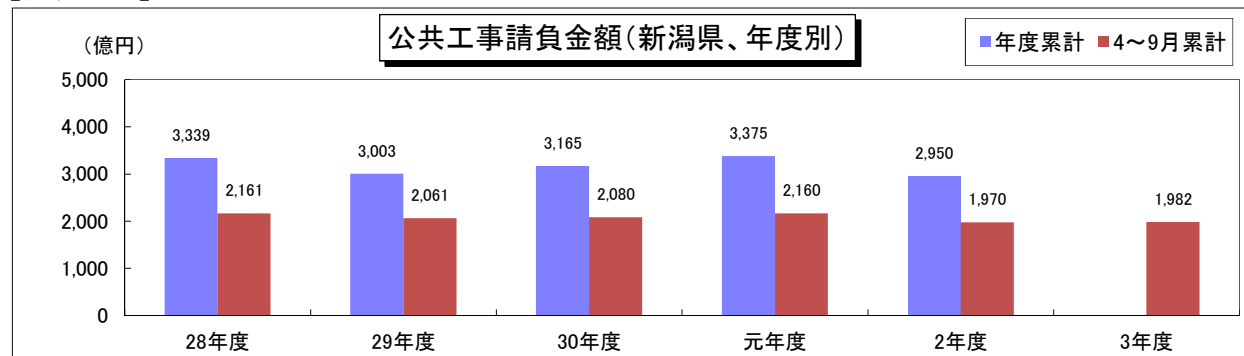
前年を下回っている

【グラフ15】



【北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)】

【グラフ16】

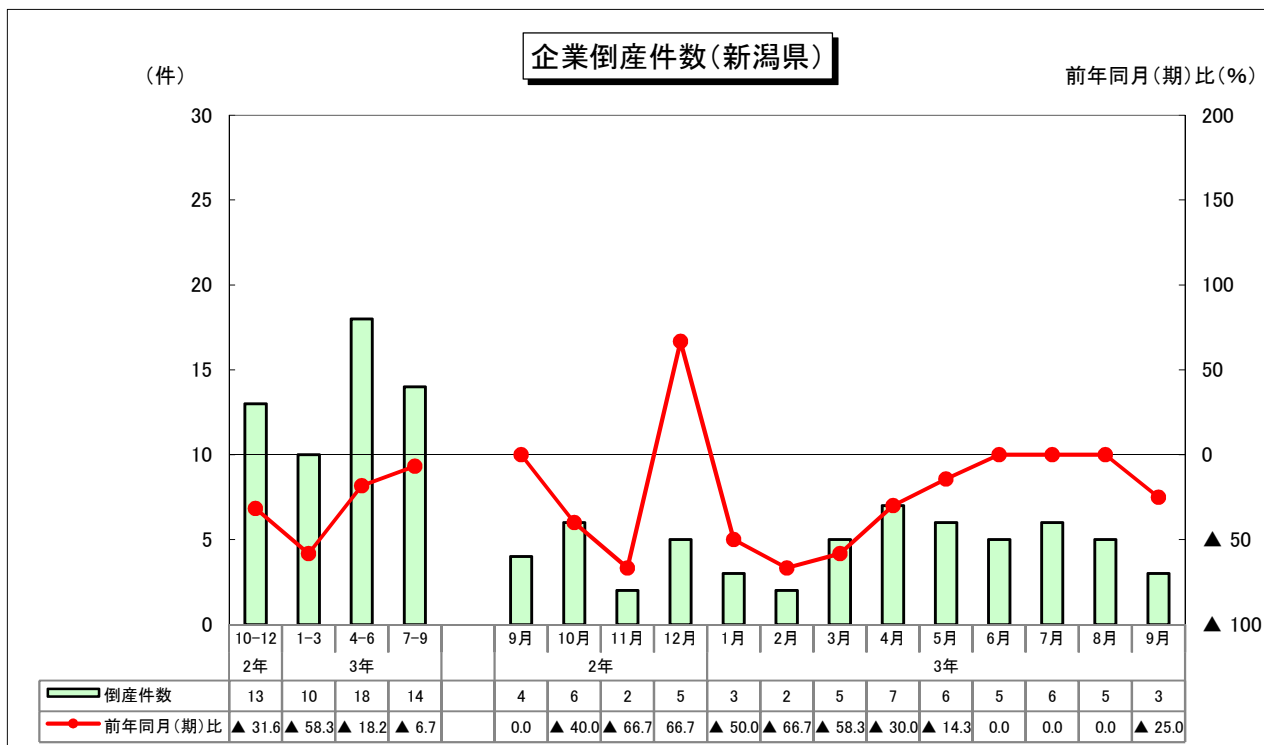


【北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)】

# 9. 企業倒産

倒産件数は前年を下回っている

【グラフ17】



【東京商エリサーチ】